



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 大同工業株式会社
 コード番号 6373 URL <http://www.did-daido.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 新家 康三
 (氏名) 菊知 克幸

TEL 0761-72-1234

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	22,640	7.6	1,448	6.4	1,671	19.5	977	41.4
29年3月期第2四半期	21,040	△8.8	1,361	△2.5	1,399	10.9	691	40.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,583百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △384百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	103.85	—
29年3月期第2四半期	73.46	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	60,288	28,174	37.9	2,426.04
29年3月期	58,478	27,136	37.6	2,332.93

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 22,835百万円 29年3月期 21,959百万円

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は7円となり、1株当たり年間配当金は7円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,900	7.6	2,800	8.6	3,000	△8.5	1,900	4.7	201.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	9,434,201 株	29年3月期	9,434,201 株
30年3月期2Q	21,581 株	29年3月期	21,238 株
30年3月期2Q	9,412,820 株	29年3月期2Q	9,413,345 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月27日開催の第124期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 7円00銭
2. 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 40円37銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米国政権の政策運営や東アジア情勢など不透明な状況が続いたものの、欧米先進国を始めとした足元の世界経済は総じて回復基調で推移しました。国内においても、好調な企業業績に支えられ、雇用環境の改善や消費の持ち直しなどの好材料を背景に、今後も緩やかな回復が続く見通しです。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は22,640百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は1,448百万円（前年同期比6.4%増）、経常利益は1,671百万円（前年同期比19.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、977百万円（前年同期比41.4%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①日本

国内は、前年同期において熊本地震やアセアン諸国での干ばつの影響などにより、完成車メーカー向け二輪車用チェーン、アルミリム、農業機械用ホイールの受注が低調であったものの、前期の後半より受注が回復基調となるとともに、二輪車用アルミリムにおいては新機種の獲得により、二輪車用チェーンにおいては欧州補修市場向けの受注が好調であったことから、売上高は前年同期比11.4%増加の12,112百万円となりました。

②アジア

タイの搬送関連設備の受注が低調であったものの、アセアン諸国において二輪車用チェーンの受注が完成車メーカー向け及び補修市場向けともに好調に推移し、中国においても日系自動車メーカーの増産を背景に四輪車用チェーンの受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期比9.9%増加の6,282百万円となりました。

③北米

四輪車用チェーンにおいて、前年同期は新規の立ち上げの影響で受注が伸びていたこともあり、売上高は前年同期比16.5%減少の2,212百万円となりました。

④南米

産業用・農業用チェーンの受注が新規案件獲得に向けた施策の展開により好調に推移するとともに、二輪車用チェーンにおいて完成車メーカー向けの受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期比23.4%増加の1,147百万円となりました。

⑤欧州

二輪車用チェーンにおいて、販売店の新規開拓等により補修市場向けの受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期比1.6%増加の885百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ、受取手形及び売掛金が486百万円、仕掛品が202百万円、建設仮勘定が286百万円、投資有価証券が845百万円増加したことなどにより1,810百万円増加し、60,288百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末と比べ、借入金が253百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が476百万円、未払法人税等が304百万円、繰延税金負債が114百万円増加したことなどにより771百万円増加し、32,113百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、利益剰余金が647百万円、その他有価証券評価差額金が304百万円、非支配株主持分が162百万円増加したことなどにより1,038百万円増加し、28,174百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ606百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には7,087百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2,515百万円（前年同期は998百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権が504百万円、たな卸資産が310百万円増加したものの、税金等調整前四半期純利益を1,715百万円、減価償却費を1,108百万円計上したことや、仕入債務が783百万円増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,308百万円（前年同期は16百万円の獲得）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出1,046百万円、有形固定資産の取得による支出1,501百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は753百万円（前年同期は1,317百万円の使用）となりました。これは主に、借入の返済による支出（純減額）が126百万円、配当金の支払額328百万円、非支配株主への配当金の支払額199百万円等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,724	7,647
受取手形及び売掛金	9,514	10,001
商品及び製品	3,830	3,725
仕掛品	2,188	2,391
原材料及び貯蔵品	2,308	2,431
繰延税金資産	472	498
その他	1,258	1,192
貸倒引当金	△49	△45
流動資産合計	27,247	27,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,502	5,371
機械装置及び運搬具(純額)	5,942	6,132
土地	2,787	2,763
リース資産(純額)	704	583
建設仮勘定	894	1,181
その他(純額)	675	757
有形固定資産合計	16,507	16,790
無形固定資産		
ソフトウェア	122	148
その他	13	13
無形固定資産合計	136	161
投資その他の資産		
投資有価証券	13,970	14,815
繰延税金資産	92	130
その他	500	526
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	14,562	15,471
固定資産合計	31,206	32,423
繰延資産		
社債発行費	23	20
繰延資産合計	23	20
資産合計	58,478	60,288

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,205	5,682
短期借入金	4,837	4,954
リース債務	158	128
未払法人税等	145	449
賞与引当金	510	556
役員賞与引当金	40	—
製品保証引当金	15	15
受注損失引当金	234	0
その他	2,419	2,586
流動負債合計	13,566	14,375
固定負債		
社債	4,500	4,500
長期借入金	8,457	8,086
リース債務	283	268
繰延税金負債	1,971	2,086
退職給付に係る負債	2,422	2,498
その他	140	298
固定負債合計	17,775	17,738
負債合計	31,341	32,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,726	2,726
資本剰余金	2,060	2,061
利益剰余金	11,849	12,497
自己株式	△19	△20
株主資本合計	16,616	17,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,100	5,405
為替換算調整勘定	257	163
退職給付に係る調整累計額	△15	1
その他の包括利益累計額合計	5,343	5,570
非支配株主持分	5,176	5,339
純資産合計	27,136	28,174
負債純資産合計	58,478	60,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	21,040	22,640
売上原価	16,317	17,765
売上総利益	4,723	4,875
販売費及び一般管理費	3,362	3,426
営業利益	1,361	1,448
営業外収益		
受取利息	44	44
受取配当金	139	150
持分法による投資利益	140	158
その他	95	76
営業外収益合計	420	430
営業外費用		
支払利息	128	102
為替差損	203	69
その他	50	34
営業外費用合計	381	206
経常利益	1,399	1,671
特別利益		
固定資産売却益	8	54
特別利益合計	8	54
特別損失		
固定資産売却損	0	7
固定資産除却損	4	3
特別損失合計	4	10
税金等調整前四半期純利益	1,402	1,715
法人税、住民税及び事業税	296	476
法人税等調整額	108	△59
法人税等合計	404	417
四半期純利益	997	1,298
非支配株主に帰属する四半期純利益	306	320
親会社株主に帰属する四半期純利益	691	977

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	997	1,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△249	305
為替換算調整勘定	△1,151	△45
退職給付に係る調整額	17	16
持分法適用会社に対する持分相当額	1	8
その他の包括利益合計	△1,382	284
四半期包括利益	△384	1,583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△308	1,204
非支配株主に係る四半期包括利益	△75	378

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,402	1,715
減価償却費	1,056	1,108
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△313	76
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△230
受取利息及び受取配当金	△183	△195
持分法による投資損益 (△は益)	△140	△158
支払利息	128	102
為替差損益 (△は益)	101	△0
有形固定資産売却損益 (△は益)	△8	△47
売上債権の増減額 (△は増加)	8	△504
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△247	△310
仕入債務の増減額 (△は減少)	△686	783
その他	42	75
小計	1,159	2,416
利息及び配当金の受取額	198	213
利息の支払額	△130	△98
法人税等の支払額	△281	△169
法人税等の還付額	52	153
営業活動によるキャッシュ・フロー	998	2,515
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△1,046
定期預金の払戻による収入	750	514
関係会社株式の取得による支出	—	△258
有形固定資産の取得による支出	△970	△1,501
有形固定資産の売却による収入	303	62
その他	△65	△79
投資活動によるキャッシュ・フロー	16	△2,308
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,184	235
長期借入れによる収入	1,167	600
長期借入金の返済による支出	△403	△961
配当金の支払額	△235	△328
非支配株主への配当金の支払額	△595	△199
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△15
その他	△66	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,317	△753
現金及び現金同等物に係る換算差額	△430	△60
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△732	△606
現金及び現金同等物の期首残高	6,222	7,693
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,489	7,087

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間において、DID MALAYSIA SDN. BHD. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,870	5,718	2,650	930	871	21,040	—	21,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,024	183	—	—	0	3,208	△3,208	—
計	13,894	5,901	2,650	930	871	24,249	△3,208	21,040
セグメント利益又は損 失(△)	586	593	172	△140	56	1,268	92	1,361

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額92百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,112	6,282	2,212	1,147	885	22,640	—	22,640
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,478	232	—	—	—	3,710	△3,710	—
計	15,591	6,514	2,212	1,147	885	26,351	△3,710	22,640
セグメント利益又は損 失(△)	699	615	68	△64	62	1,381	67	1,448

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額67百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。